

CH.8 なぜ価格は善か

スミス対ダーウィン

この章のテーマは？

この章のテーマは？

- 厚生経済学の基本定理 (p.106 最終段落 -- p.107)

この章のテーマは？

- 厚生経済学の基本定理 (p.106 最終段落 -- p.107)
- 「価格」こそが「神の見えざる手」で、価格によって個々の合理的な行動が、社会全体の効率性（福利）をもたらす。 p.106

教訓は

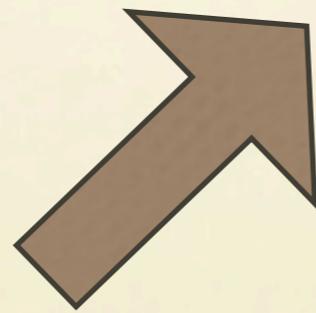
- 世界には非効率が溢れているし、訓練を受けていない人の目には、そのほとんどが「熾烈な競争」か「市場の暴走」の結果のあるように映る。だが見えざる手の定理によると、非効率の源泉は、存在している市場にではなく、失われている市場に求めて然るべきなのだ。価格付けされていない財を探すべきであり、そしてまた、所有されていない財を探すべきなのである。 p.110 最終段落.

教訓は

- つまり，様々な財が価格付けされ，市場を通じて取引されていれば，効率性が達成される。

教訓は

- つまり，様々な財が価格付けされ，市場を通じて取引されていれば，効率性が達成される。



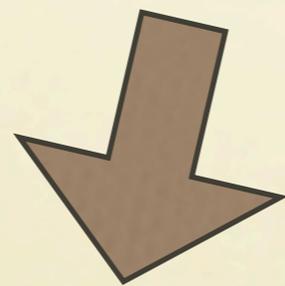
効率性って何？

効率性とは？

- 「効率性 = 利益」ではない！
- 無駄がないということ。
- 無駄があれば、現状を改善できるはず。

効率性とは？

- 「効率性 = 利益」ではない！
- 無駄がないということ。
- 無駄があれば、現状を改善できるはず。



パレート最適 or パレート効率性

パレート効率性

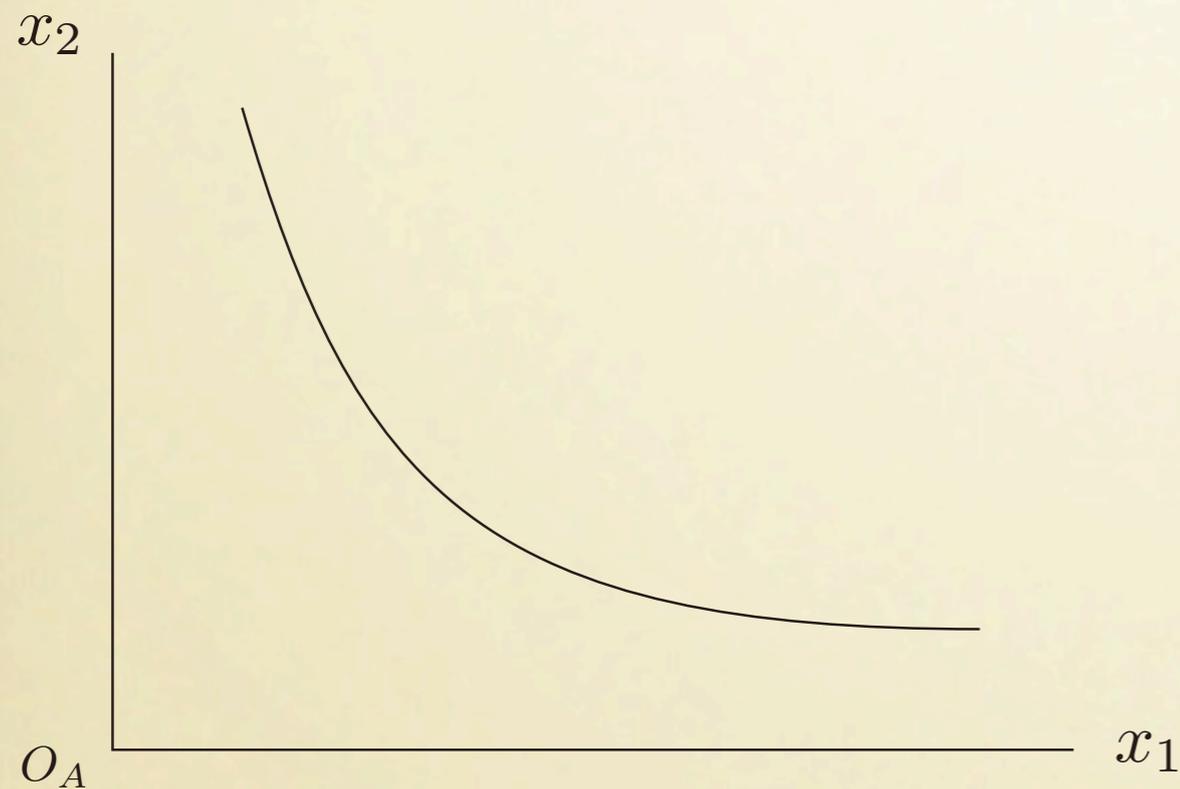
- 誰かの効用を犠牲にしなければ，他の誰の効用をも高めることが出来ない状態。

パレート効率性

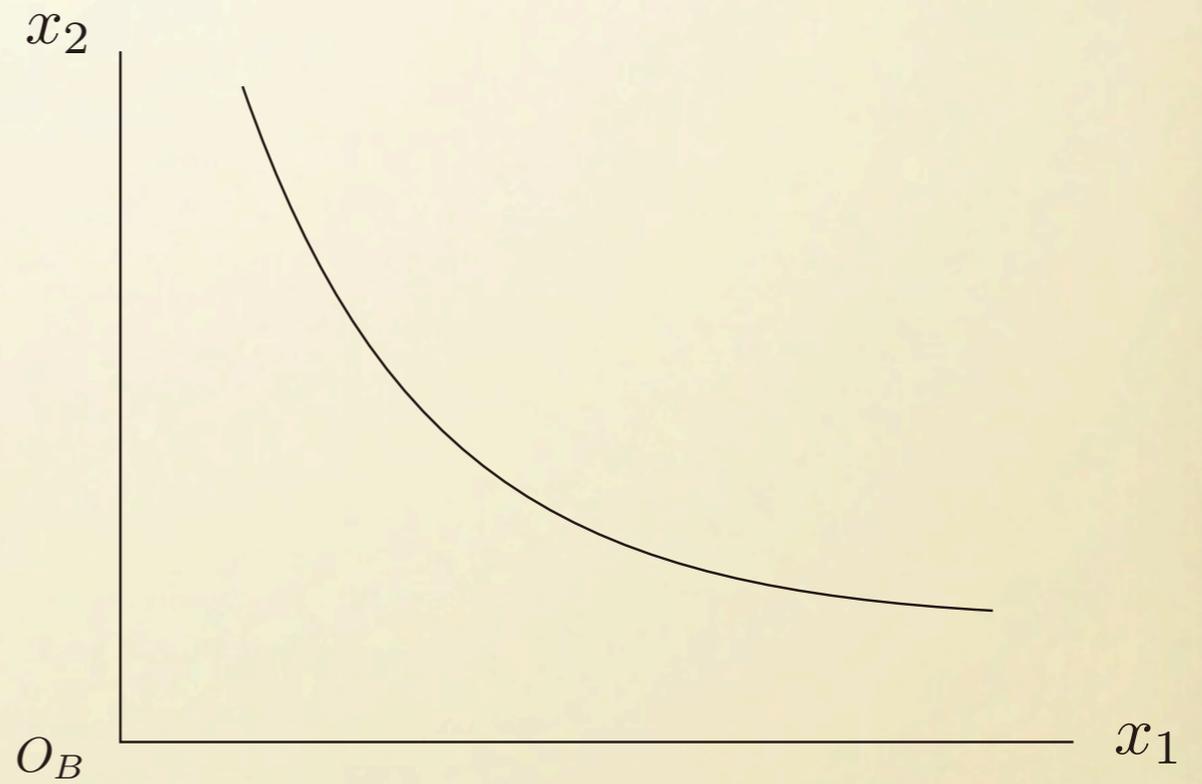
- 誰かの効用を犠牲にしなければ，他の誰の効用をも高めることが出来ない状態。
- つまり，無駄がないということ。

パレート効率性

2財2人交換経済

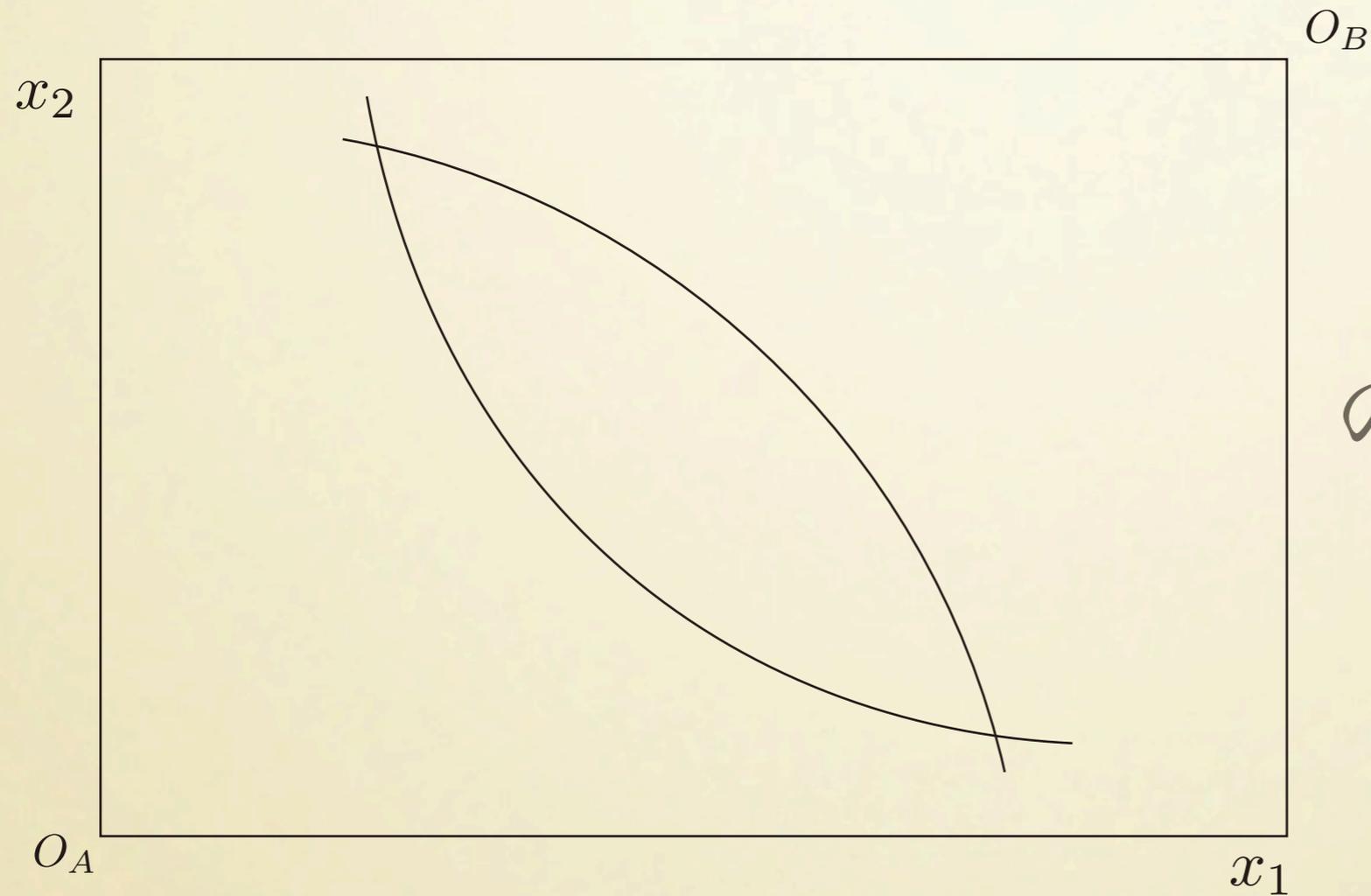


Aの無差別曲線



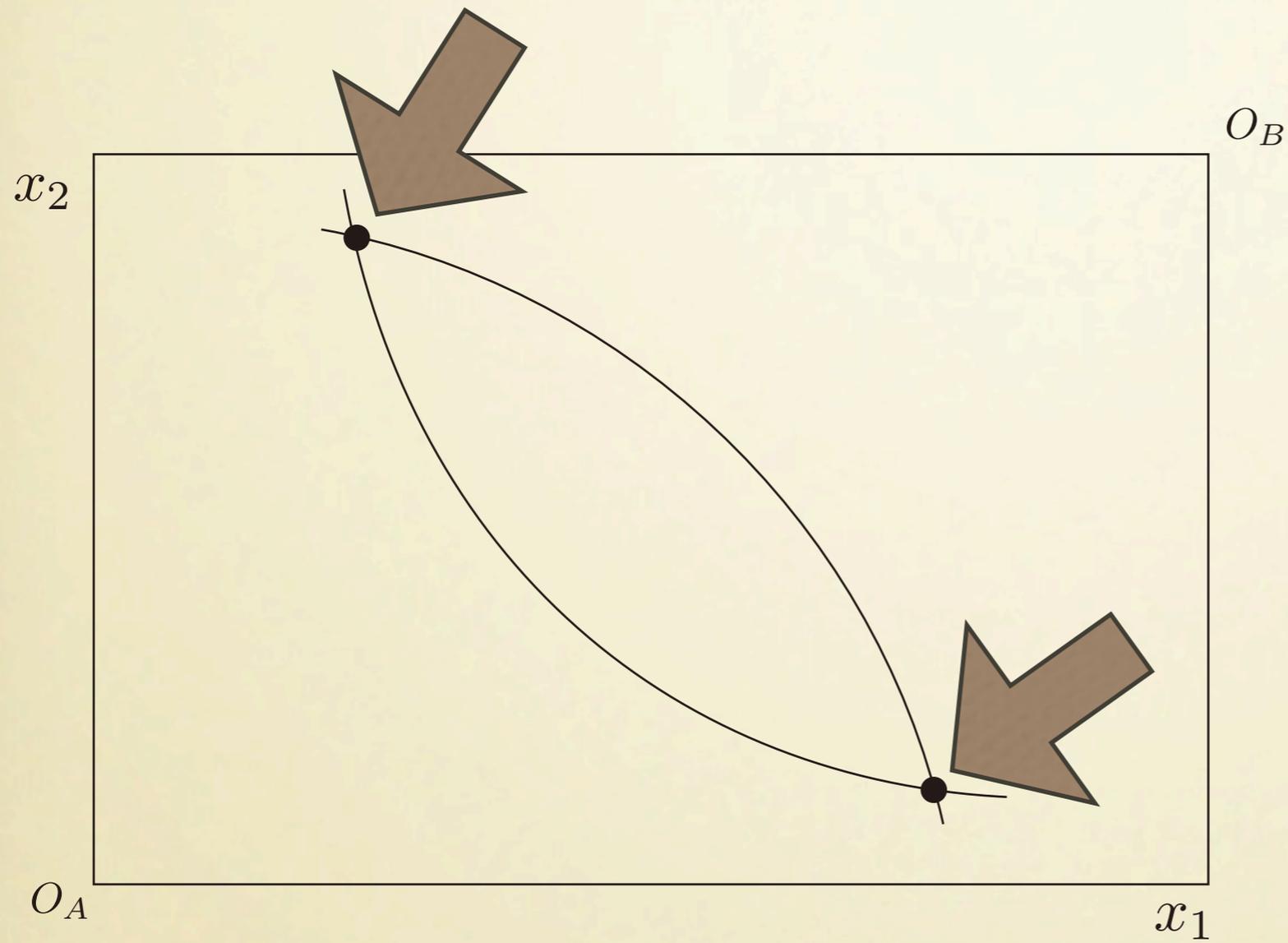
Bの無差別曲線

2人交換経済



無駄のない消費
の組合せはどこ？

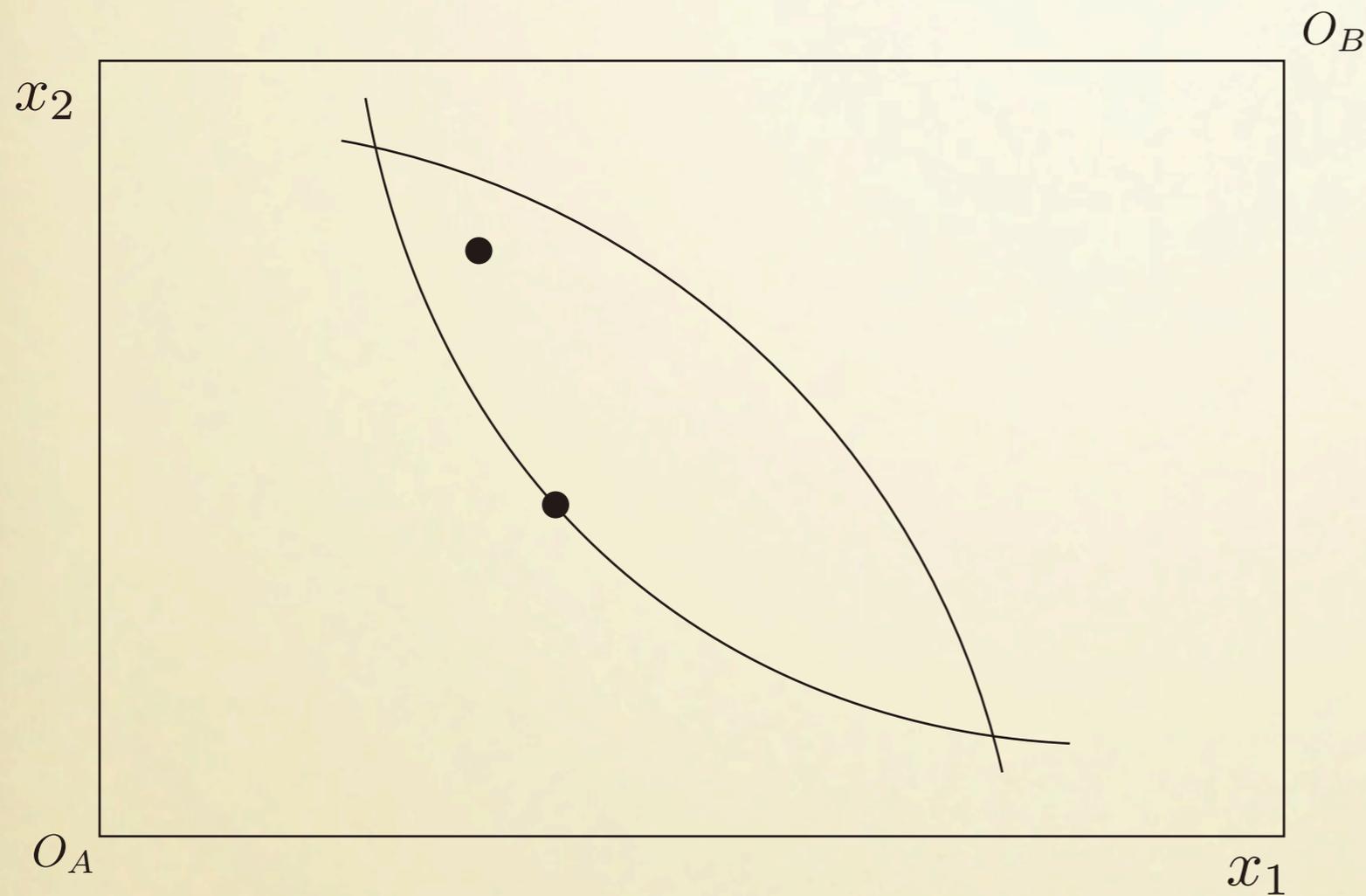
2人交換経済



資源の無駄はない

パレート効率？

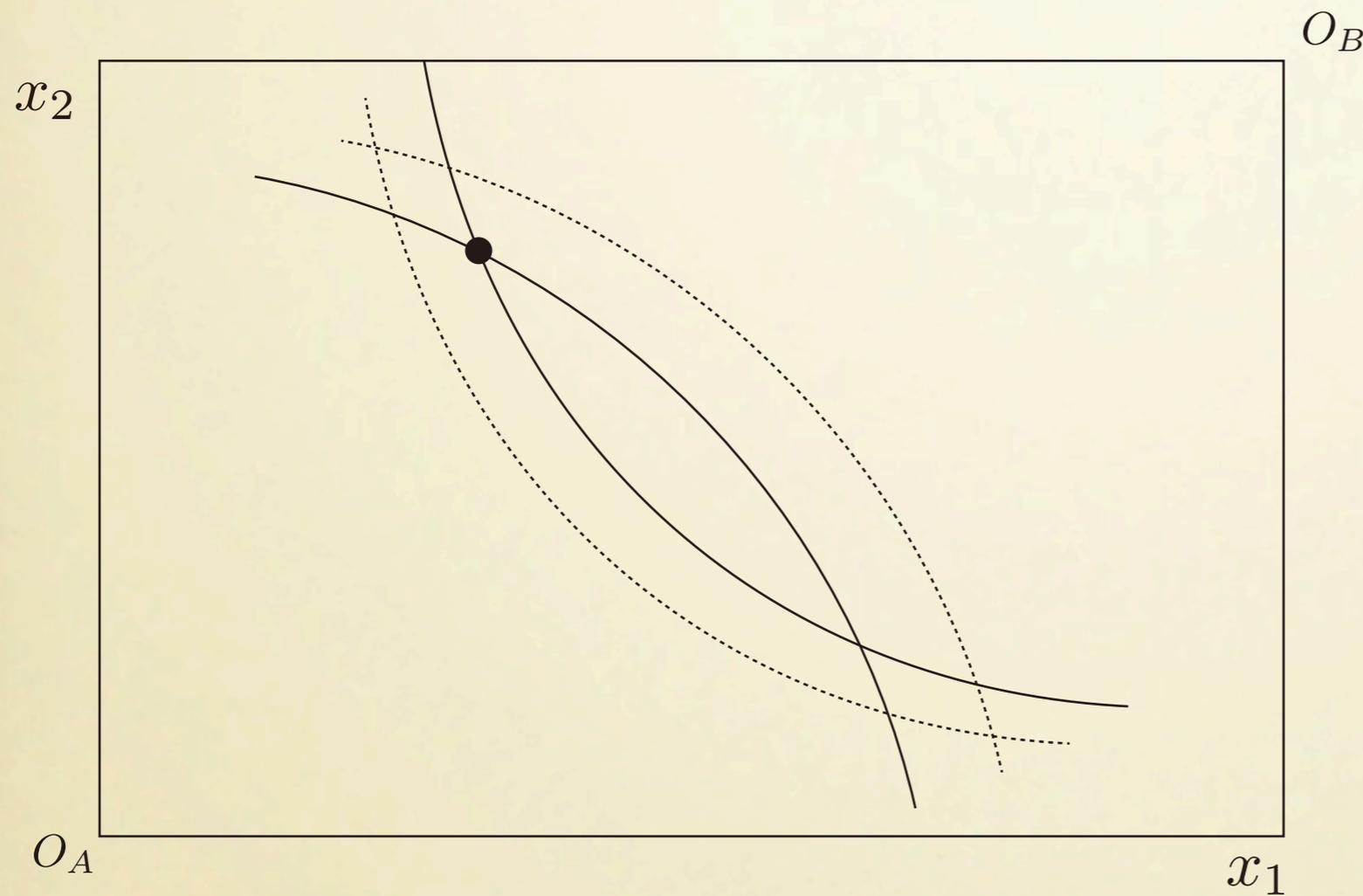
2人交換経済



左の2点は
パレート改善

したがって最初の点は
パレート効率ではない！

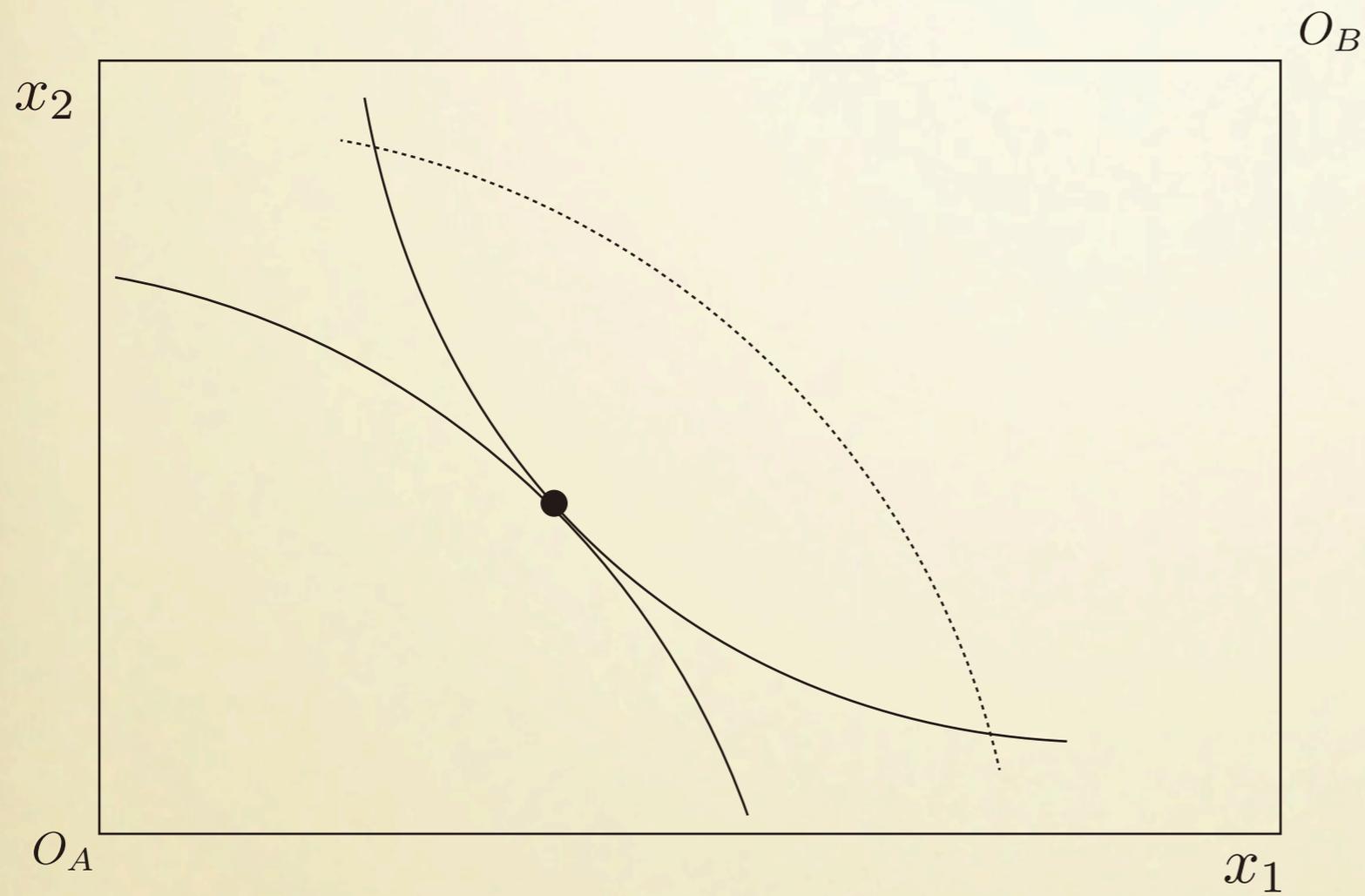
2人交換経済



パレート改善

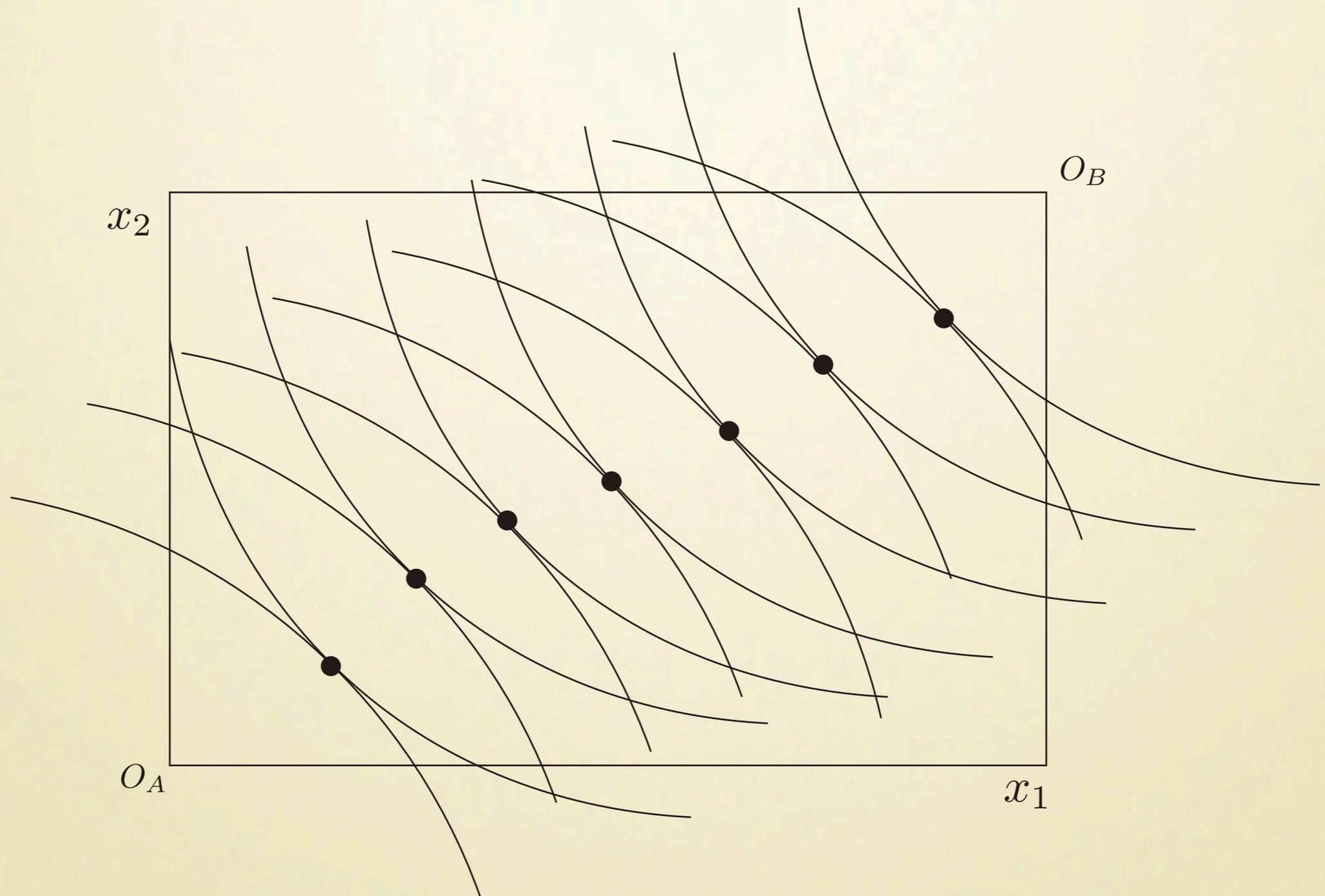
したがって最初の点は
パレート効率ではない！

2人交換経済



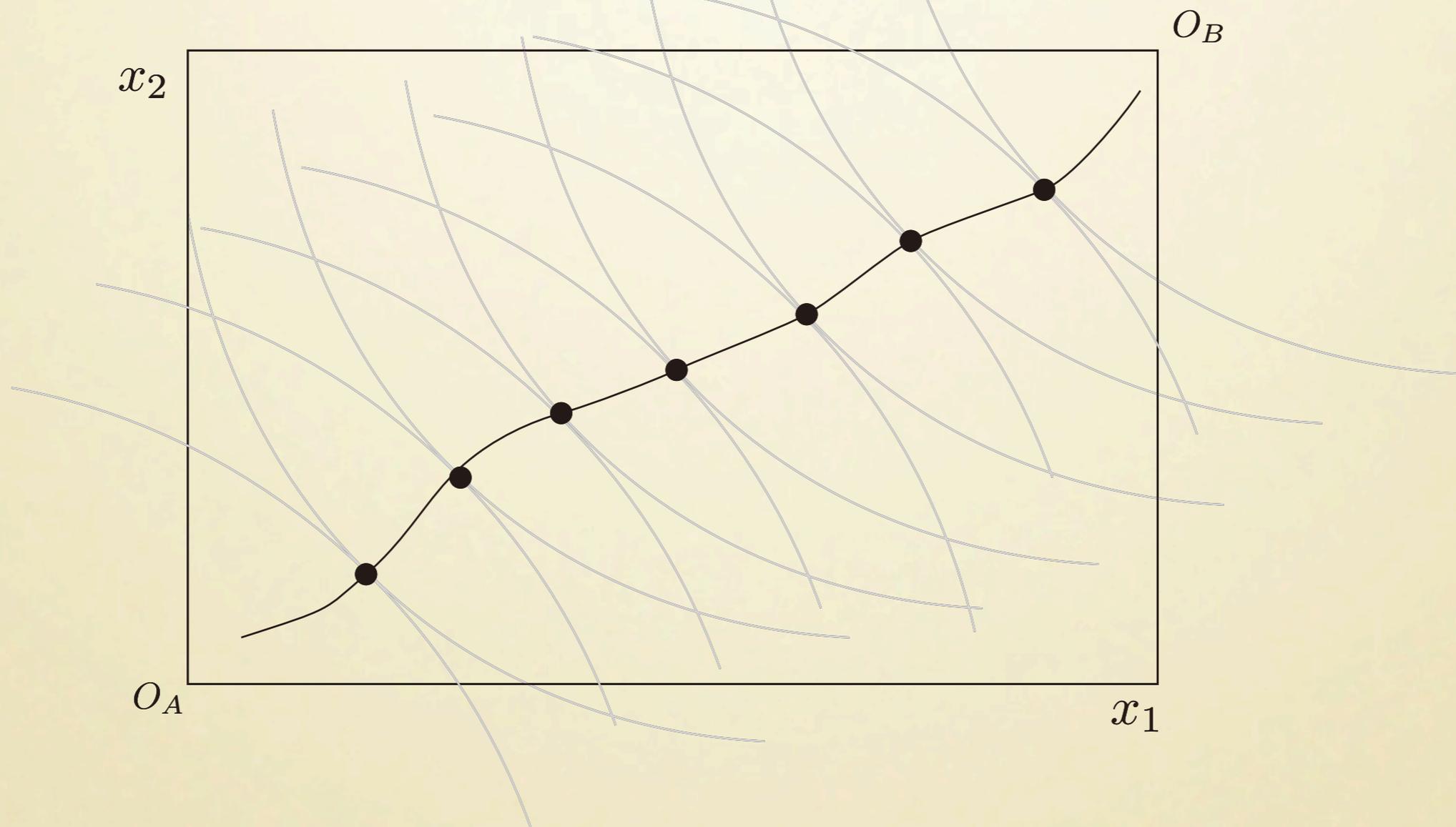
パレート改善
かつ
パレート効率

2人交換經濟



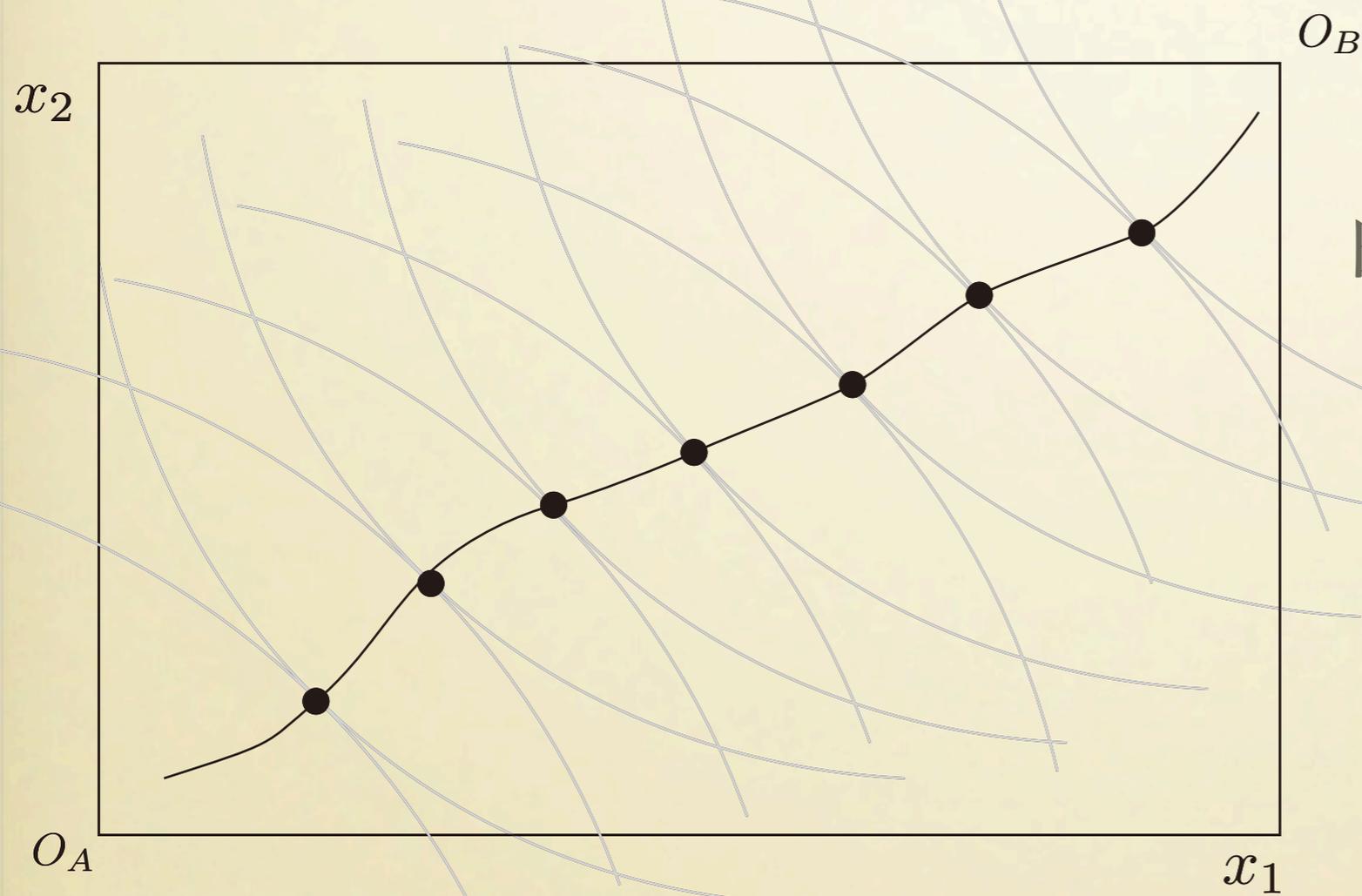
2人交換經濟

契約曲線 contract curve



2人交換経済

契約曲線上では、全てパレート効率



すなわち、経済学では
曲線上の均衡点の優劣は
付けられない。

厚生経済学の基本定理

- では、どのような時にパレート効率が達成されるのか？

厚生経済学の基本定理

- では、どのような時にパレート効率が達成されるのか？

厚生経済学の第1定理

完全競争均衡はパレート効率的である。

厚生経済学の基本定理

厚生経済学の第2定理

任意のパレート効率的な配分は、適当な初期保有量を持つ個人から成る経済の完全競争均衡として達成される。

厚生経済学の基本定理が意味するところ

- 世界には非効率が溢れているし、訓練を受けていない人の目には、そのほとんどが「熾烈な競争」か「市場の暴走」の結果のあるように映る。だが見えざる手の定理によると、非効率の源泉は、存在している市場にではなく、失われている市場に求めて然るべきなのだ。価格付けされていない財を探すべきであり、そしてまた、所有されていない財を探すべきなのである。 p.110 最終段落.

教訓は

- この教訓は厚生経済学の基本定理が成立しないケースの1つに関する解決法. そのケースとは？

教訓は

- この教訓は厚生経済学の基本定理が成立しないケースの1つに関する解決法. そのケースとは?
 - 外部性

教訓は

- この教訓は厚生経済学の基本定理が成立しないケースの1つに関する解決法. そのケースとは?
 - 外部性
- 他には？

教訓は

- この教訓は厚生経済学の基本定理が成立しないケースの1つに関する解決法. そのケースとは?
 - 外部性
- 他には?
 - 情報の非対称性

教訓は

- この教訓は厚生経済学の基本定理が成立しないケースの1つに関する解決法. そのケースとは?
 - 外部性
- 他には?
 - 情報の非対称性
 - 公共財の存在

教訓は

- この教訓は厚生経済学の基本定理が成立しないケースの1つに関する解決法。そのケースとは？
 - 外部性
- 他には？
 - 情報の非対称性
 - 公共財の存在
 - 不完全競争

教訓は

- この教訓は厚生経済学の基本定理が成立しないケースの1つに関する解決法. そのケースとは?
 - 外部性
- 他には?
 - 情報の非対称性
 - 公共財の存在
 - 不完全競争
 - 費用逡減産業の存在